

奥美濃古地鶏

種を守り、安心して安全な食材をお届けすることが、かけがえのない幸せ



岐阜県産の農畜産物を通して、生産農家にスポットを当てる「ぎふの農業人」の第8回目。今回は、岐阜県美濃加茂市古井町で、岐阜県産のブランド地鶏「奥美濃古地鶏」のひなの孵化に取り組み山本養鶏孵化場の代表取締役社長 山本満祥さんに話を聞きました。養鶏孵化場の創設の背景から、奥美濃古地鶏をはじめめるに至った思い、健康で質の良い鶏のひなが産まれるまで。山本さんのお話から、奥美濃古地鶏の美味しさの秘訣を知ることができました。

地元・国産・種を守り続ける。その思いが、奥美濃古地鶏につながった。

「創業者の父は、岐阜県の養鶏試験場長を務めて、国産にわたりの改良に携わっており、岐阜県内に技術者が少なかったこともあり、昭和20年代に美濃加茂に孵化場を創設しました。岐阜県はもと探卵鶏の飼養が盛んで、ひなを出荷する孵化場も多くありましたが、貿易自由化によって外国産ひなの輸入が増え、国産ひなの孵化場が廃業に追い込まれました。父がプロイラー用種鶏



卵の段階でワクチンを接種できる卵内接種機

へ切り替えたのがその頃です」と話す山本さん。現在は、採卵鶏は扱わず、奥美濃古地鶏のひなやプロイラー用のひなを孵化させ、提携先の養鶏場に供給しています。

奥美濃古地鶏をはじめたのが、現社長の山本さん。プロイラーを飼養する人が担い手不足や高齢化のため廃業していくことや、プロイラーは親鶏を外国産(アメ

手間も愛情もおいしさを つくるために必要な仕事。

「鶏肉を通じて、美味しく良質なタンパク源を消費者の皆さんに供給できることは、一番のやりがいです。ただ、外国に親鶏を頼ることは、安心安全も含め、やはり怖い。輸入できないなくなるかもわからない。だから、国産で親鶏を持つていないといけないし、食料自給率を高める意味でも自分たちの存在意義を感じています」

岐阜ブランドである奥美濃古地鶏のひなを出荷するまでには、多くの手間がかかります。まず親鶏のひなを仕入れ、育て、卵を産ませます。その卵を孵化場で18日間温め、卵の段階でワクチンを接種。効果的なワクチン接種を可能にするために、フランスから卵内接種機を導入しました。そして、ハッチャー(孵化専用の機械)に3日間入れ孵化させるまでに21日間。親鶏のひなから成長して卵を産むまでの日数を測ると、8ヶ月近く時間がかかります。この努力こそ



卵は孵化させるまでに21日間かかる

※農業事業者の自己資本を増やす出資の仕組み。詳しくはJAまでお問い合わせください。

ぎふの農業を支える JAバンク

JA岐阜信連理事長 山田 幹人氏から



岐阜県下JAバンクは、県内で活躍する農業者の下支えとして、低利でスピーディーな金融サービスや、バランスの取れた経営サポートなど、資金面からお手伝いをさせていただいています。これからの農業者と一緒に関内の農業を盛り上げていくとともに、未来の担い手を育成するため、新規就農者や高校生の農業研究への支援も行っています。また、今後さらに注目されるであろうGAP認証(※)の取得・維持にかかる費用助成や岐阜の農畜産物を広めるための販路拡大にも力を入れていきます。

「明日の農業を、担い手とともに創る」これが、私たちJAバンクの思いです。

※農産物などが安全な工程で生産されていることを認証する制度。

本広告に関するご意見・ご感想をお聞かせください!

美濃酪農農業協同組合連合会特製の贅沢な本格チーズケーキ(12個)のセットを5名様にプレゼント!

クリームチーズのkokとヨーグルトのさわやかな酸味に生クリームのなめらかさが口の中でとろける本格派の方にも納得のチーズケーキです。ふるさと納税のお礼品としても人気の高い、クリームチーズをふんだんに使用した大人の洋菓子を是非ご賞味ください。

①郵便番号・住所 ②氏名 ③電話番号 ④紙面に関するご意見を明記して下記の方法でお申し込みください。
【はがき】〒500-8577(住所不要) 岐阜新聞 広告局 広告部「ぎふの農業人」係
※個人情報情報は賞品発送において使用し、適正に管理します。※当選者の発表は、賞品の発送(翌月予定)をもってかえさせていただきます。

4/20(金) 必着

抽選で 5名様に プレゼント



耕そう、大地と地域の未来。

安心・安全のために国産の種を守り、大切なことを手間ひまかけて次世代につなぐ。

希望の種をまいて、未来を育む。
わたしたちJAは、生産者と地域の夢を応援しています。